

千葉県袖ヶ浦市

山野貝塚総括報告書

— 房総半島に現存する最南部の縄文時代後・晩期の大型貝塚 —

2016

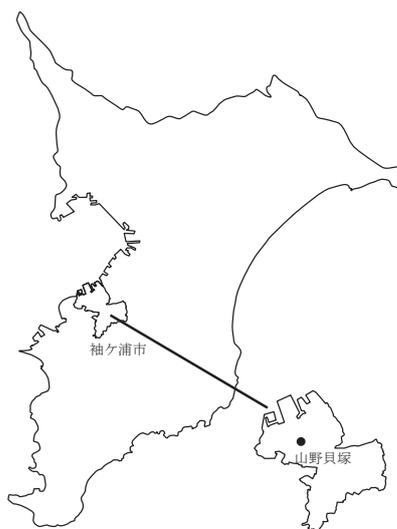
袖ヶ浦市教育委員会

千葉県袖ヶ浦市

さん や かい づか

山野貝塚総括報告書

— 房総半島に現存する最南部の縄文時代後・晩期の大型貝塚 —



2016

袖ヶ浦市教育委員会

序 文

房総半島中央部の東京湾側に位置する袖ヶ浦市は、温暖な気候と穏やかな東京湾や房総丘陵に端を発する小櫃川の豊かな恵みにより育まれ、3万年前の太古から人々の生活が営まれてきました。

そして、この東京湾で生じる潮流は、千葉県側の東岸に広大な干潟を形成し、さらに潮流や河川により運ばれる豊富な栄養分は、干潟に貝類など多くの海産生物を育くむ源となりました。

縄文時代には、干潟に生息する貝類などを食糧源として採取したことにより、多くの貝塚が形成されましたが、東京湾の豊かな恵みは千葉県内に全国で最も多くの貝塚を残す要因ともなりました。

市内飯富に所在します山野貝塚は、千葉県に残された縄文時代後・晩期の貝塚の一つとして、良好な状態で保存されてきました。さらに、県内に現存する貝塚の中では、最南部に位置する大型貝塚としても注目され、千葉県史跡にも指定されております。

一方、千葉県の北部には大型貝塚が数多く所在し、発掘調査により貝塚の研究が進んでおりますが、袖ヶ浦市以南には現存する貝塚も少なく、詳細なことがわかっておりません。そのような中で、山野貝塚は縄文時代からの状態や情報を地中に保っていることから、この地域だけではなく、千葉県や東京湾岸の貝塚を考えていくうえで非常に重要な遺跡といえます。

袖ヶ浦市教育委員会では、このような山野貝塚の重要性を鑑み、良好に保存された状態を恒久的に維持することを目的として、平成22年度より国庫補助を受け、遺跡の保存範囲確認調査や地形測量を実施してまいりました。今回、これまでの調査成果を総合的に分析し、山野貝塚の重要性や価値を明確にした総括報告書を刊行する運びとなりました。これらの結果をまとめた本書が山野貝塚のみならず、埋蔵文化財保護を図るための資料として活用されることを切に願っております。

最後に、総括報告書の刊行にいたるまで、文化庁文化財部記念物課並びに千葉県教育委員会文化財課をはじめ、土地所有者の方々など、多大なご協力とご理解をいただきました関係者の皆様に対して心から厚くお礼申し上げます。

平成28年3月

袖ヶ浦市教育委員会
教育長 川島 悟



1. 山野貝塚出土土器



1. 第1次調査調査風景（東→）



2. 第1次調査 C 86 グリッド遺物出土状況（第35図175、178含む）（東側真上→）



1. 第1次調査⑥セクションルーム質黄褐色土堆積状況（1）（東→）



2. 第1次調査⑥セクションルーム質黄褐色土堆積状況（2）（東→）

例 言

1. 本書は、袖ヶ浦市飯富 3,544 番 6 他に所在する山野貝塚について、これまでの調査成果を総括した調査報告書である。
2. 山野貝塚における発掘調査は 7 次に亘り実施されている。各調査の調査期間及び調査機関等については、下記のとおりである。

発掘調査

- 第 1 次調査 期間：昭和 48 年 5 月 10 日～昭和 48 年 9 月 25 日 面積：約 500 m²
所在地：千葉県袖ヶ浦市飯富字山野 3,544 番 6
調査機関：財団法人千葉県都市公社文化財調査事務所 調査担当者：野村幸希
- 第 2 次調査 期間：平成 4 年 10 月 1 日～平成 4 年 10 月 30 日 面積：200 m²
所在地：千葉県袖ヶ浦市飯富 3,545 番 5 他
調査機関：財団法人千葉県文化財センター 調査担当者：上守秀明
- 第 3 次調査 期間：平成 24 年 1 月 18 日～平成 24 年 1 月 30 日 面積：95.4 / 6,673 m²
所在地：千葉県袖ヶ浦市飯富 3,521 番 2 他
調査機関：袖ヶ浦市教育委員会 調査担当者：西原崇浩
- 第 4 次調査 期間：平成 24 年 7 月 17 日～平成 24 年 7 月 30 日 面積：30 / 1,685 m²
所在地：千葉県袖ヶ浦市飯富 3,516 番 21 他
調査機関：袖ヶ浦市教育委員会 調査担当者：田中大介
- 第 5 次調査 期間：平成 25 年 1 月 28 日～平成 25 年 2 月 8 日 面積：18.7 / 179 m²
所在地：千葉県袖ヶ浦市飯富 3,544 番 17
調査機関：袖ヶ浦市教育委員会 調査担当者：田中大介
- 第 6 次調査 期間：平成 26 年 2 月 12 日～平成 26 年 2 月 21 日 面積：36 / 1,666 m²
所在地：千葉県袖ヶ浦市飯富 3,550 番 3 他
調査機関：袖ヶ浦市教育委員会 調査担当者：田中大介
- 第 7 次調査 期間：平成 26 年 12 月 15 日～平成 26 年 12 月 25 日 面積：14 / 1,553 m² 下層 4 / 1,553 m²
所在地：千葉県袖ヶ浦市飯富 3,516 番 8 他
調査機関：袖ヶ浦市教育委員会 調査担当者：田中大介

整理作業・報告書刊行

期間：平成 25 年度～平成 27 年度
調査機関：袖ヶ浦市教育委員会
担当者：田中大介・西原崇浩

3. 本書で使用した地形図は下記の通りである。
第 4 図 国土地理院発行 25,000 分の 1 地形図「姉崎」・「上総横田」・「奈良輪」・「木更津」・「久留里」・「鹿野山」
第 5 図 袖ヶ浦市発行 2,500 分の 1 地形図 NO. 18
4. 原稿執筆者は以下のとおりである。なお、石器石材鑑定と動物遺体の分析及び各原稿執筆については外部の方々に依頼し、玉稿を賜った。
第 1 章第 1、2 節 田中大介
第 1 章第 3、4 節 西原崇浩
第 2 章第 1、2、4 節 田中大介
第 2 章第 3 節 西原崇浩

第3章第1、2節、第3節1～3、5、6 田中大介

第3章第3節4 石器石材分析 柴田 徹（有限会社考古石材研究所）

第4章第1節、2節1～3 田中大介

第4章第2節4 微小貝類遺体 黒住耐二（千葉県立中央博物館）

第4章第3節1 分析資料と分析方法の概要、同2 脊椎動物全体の概要 樋泉岳二（早稲田大学）

第4章第3節3 魚類・両生類・爬虫類、同5 哺乳類 樋泉岳二、服部智至（（公財）千葉県教育振興財団）、小川慶一郎（東京学芸大学）

第4章第3節4 鳥類 江田真毅（北海道大学総合博物館）

第4章第4節 人骨の分析 佐宗亜衣子・諏訪 元（東京大学総合研究博物館）

第4章第5節 山野貝塚から出土した縄文時代人骨の同位体分析と放射性炭素年代 米田 穰・尾崎大真・大森貴之（東京大学総合研究博物館）、小林紘一・伊藤 茂（株式会社パレオ・ラボ）

第5章 田中大介

5. 本書に掲載した写真は、遺構については各調査担当者が、遺物については、鳥骨は江田、人骨は佐宗、それ以外は西原が撮影した。
6. 今回の発掘調査に伴う出土遺物・記録類等は袖ヶ浦市教育委員会、東京大学総合研究博物館で保管している。
7. 第3章第3節2土製品（1）土偶・土版の第75図1・6～9、第76図11・13～16、第77図19・20・22図の実測図は山本哲也氏が実測し、平成元年（1989）に（財）君津郡市文化財センターが刊行した『君津郡市文化財センター研究紀要』Ⅲに掲載した実測図の掲載許可をいただき転載した。
8. 第3章第3節3石器・石製品の第94図62独鈷石の実測図は、小澤清男氏が実測し、平成23年（2011）に千葉市立加曽利貝塚博物館が刊行した『貝塚博物館紀要』第38号に掲載した実測図の掲載許可をいただき転載した。
9. 発掘調査から報告書刊行に至るまで、文化庁、千葉県教育委員会、（公財）千葉県教育振興財団、東京大学総合研究博物館の各機関、地権者の方々をはじめ、阿部昭典、今村啓爾、江田真毅、岡本東三、小川慶一郎、小澤清男、梶原正方、黒住耐二、坂本 匠、佐宗亜衣子、笹生 衛、柴田 徹、鈴木仲秋、諏訪 元、高橋 克、千葉 豊、樋泉岳二、成田篤彦、西野雅人、日塔和彦、服部智至、村田六郎太、山田常雄、山本哲也、米田 穰の各氏には多大なるご指導、ご協力を頂いた。記して謝意を表したい（個人五十音順、敬称略）。

凡 例

1. 挿図の縮尺は各図に明記した通りである。方位は、第1次調査については磁北、第2次調査以降については座標北とした。
2. 検出された遺構については以下のように略記号に数値を振った。
住居－S I 土坑－S K
なお、住居については、住居跡、住居址、竪穴住居などと一般に表記されるが、本報告では「住居」に統一した。また、第1次調査の北東側斜面で検出されたローム質黄褐色土については、人為的に移動された土層と考え、本報告では「盛土遺構」と表記する。
3. 遺構平面図および土層断面図中の「K」は攪乱を示す。
4. 遺構実測図中のドットは遺物の出土位置を示し、その内容は各図の凡例のとおりである。
5. 遺物実測図脇の数値は出土グリッド、取り上げ層位、本文層位を示す。
6. 属性表の計測値の（ ）付きの数値は残存値、推定値を示す。
7. 本報告に掲載した表については、附属のCD-Rに収録した。また、型式、種類別土器重量表、土器観察表、貝類同定結果、貝類計測値データについては、付表としてCD-Rのみに収録した。
なお、CD-R収録内容と印刷内容に相異があった場合、印刷内容を優先する。

目 次

第1章 総括報告書作成の目的と方法	1	
第1節 総括報告書作成の目的	1	
第2節 総括報告書作成の方法	1	
1 整理作業の方法	1	
2 時期設定	2	
第3節 調査組織	3	
第4節 調査検討委員会	4	
第2章 山野貝塚の概要	6	
第1節 地理的環境	6	
1 東京湾と東岸貝塚の地理的区分および山野貝塚の位置づけ	6	
2 山野貝塚周辺の地形と立地条件	9	
第2節 周辺の遺跡	12	
第3節 調査の歴史	13	
1 山野貝塚の名称	13	
2 調査の沿革	15	
第4節 遺跡の概要	19	
第3章 検出された遺構と遺物	25	
第1節 貝層	25	
1 東貝層	25	
(1) 第1次調査範囲	(2) 7トレンチ	(3) 11トレンチ
2 西貝層	63	
(1) 4トレンチ	(2) 8トレンチ	(3) 10トレンチ
3 地点貝層	71	
(1) 2トレンチ	(2) 南西部地点貝層	
第2節 住居・土坑・埋葬人骨・中央窪地・盛土遺構	72	
1 住居	73	
(1) S I 01	(2) S I 02	(3) S I 03～05
(4) S I 06	(5) S I 07	(6) S I 08
(7) S I 09	(8) S I 10～12	(9) S I 13
2 土坑	81	
(1) S K 01	(2) S K 14	(3) S K 15
3 埋葬人骨	88	
4 中央窪地	90	
(1) 5トレンチ	(2) 9トレンチ	(3) 12トレンチ

5	盛土遺構	94
第3節	出土遺物	95
1	土器	95
2	土製品	101
	(1) 土偶・土版	(2) 土器片錘
	(4) 蓋状土製品	(5) 耳飾
	(7) ミニチュア土器	(8) その他の土製品
3	石器・石製品	111
	(1) 石鏃・石鏃未成品	(2) 石錐
	(4) 石核	(5) 打製石斧
	(7) 磨石・敲石	(8) 石皿
	(10) 軽石製品	(11) 石棒・石剣
	(13) 垂飾	(12) 独鈷石
4	石器石材分析	137
	(1) 各岩石の判定基準	(2) 器種ごとの構成岩石種
	(3) 礫の構成岩石種	(4) まとめ
5	骨角歯牙製品	149
6	貝製品	159
第4章	自然遺物の分析	160
第1節	分析資料の概要	160
第2節	貝類	161
1	分析方法	161
2	貝種組成	162
	(1) 主体種と頻出種	(2) 稀、ごく稀な種
3	計測値分布	168
4	微小貝類遺体	172
	(1) 検討サンプルと分析方法	(2) 結果および考察
	(3) まとめ	
第3節	脊椎動物遺体	179
1	分析資料と分析方法の概要	179
2	脊椎動物遺体全体の概要	179
3	魚類・両生類・爬虫類	180
	(1) 分析方法	(2) 現地採集資料
	(3) 水洗選別資料	
4	鳥類	211
	(1) 資料と方法	(2) 結果
	(3) 考察 山野貝塚における鳥類利用	
5	哺乳類	217
	(1) 資料と分析方法	(2) 現地採集資料
	(3) 水洗選別資料	

第4節 人骨の分析	257
1 はじめに	257
2 各資料の発掘・採集経緯および現状	257
(1) 1960年代に発掘・採集された資料	
(2) 1973年および1992年度の行政発掘により出土した破片骨	
(3) 地権者により寄贈された成人大腿骨	
3 山野貝塚人骨の保存状況および形態的特徴	258
(1) 保存状況	
(2) 虫歯(齲歯)について	
(3) 性別判定および長骨断面示数について	
4 まとめ	260
第5節 山野貝塚から出土した縄文時代人骨の同位体分析と放射性炭素年代	266
1 はじめに	266
2 資料と方法	266
3 分析結果	267
4 議論	268
第5章 総括	273
第1節 遺跡の広がりと形成	273
1 中期末葉～後期初頭(0段階)	273
2 後期前葉(I-1、I-2段階)	273
3 後期中～後葉(Ⅲ段階)	276
4 晩期(IV-1、IV-2段階)	277
5 遺跡の広がりと形成	277
第2節 出土遺物の特徴	278
1 土器	278
2 土製品	278
3 石器	279
4 骨角歯牙製品	279
5 貝製品	281
第3節 動物資源の獲得と利用	281
1 貝類	281
2 魚類	283
3 爬虫類	283
4 鳥類	284
5 小型哺乳類	284
6 イノシシ・シカ	284
7 海生哺乳類	285
第4節 東京湾東岸における山野貝塚の位置づけ	285
1 山野貝塚の性格	285
2 小櫃川中～下流域周辺における山野貝塚の位置づけ	287
3 東京湾東岸における山野貝塚の位置づけ	290
第5節 今後の保存活用について	294

巻頭カラー図版目次

巻頭カラー図版	1	山野貝塚出土土器
巻頭カラー図版	2-1	第1次調査調査風景
巻頭カラー図版	2-2	第1次調査 C 86 グリッド遺物出土状況 (第35図175、178含む)
巻頭カラー図版	3-1	第1次調査⑥セクションローム質黄褐色土堆積状況(1)
	3-2	第1次調査⑥セクションローム質黄褐色土堆積状況(2)

挿図目次

第1図	日本列島における縄文貝塚の分布概況	6	第29図	第1次調査出土土器(11)	48
第2図	東京湾と貝塚の区分	7	第30図	第1次調査出土土器(12)	49
第3図	袖ヶ浦市内地形区分図	9	第31図	第1次調査出土土器(13)	50
第4図	縄文時代後期推定海岸線	10	第32図	第1次調査出土土器(14)	51
第5図	山野貝塚位置図および周辺遺跡分布図	11	第33図	第1次調査出土土器(15)	52
第6図	山野貝塚周辺地形図	21	第34図	第1次調査出土土器(16)	53
第7図	山野貝塚全体図	22	第35図	第1次調査出土土器(17)	54
第8図	山野貝塚断面図	23	第36図	第1次調査出土土器(18)	55
第9図	第1次調査全体図	26	第37図	第1次調査出土土器(19)	56
第10図	第1次調査断面図(1)	28	第38図	第1次調査出土土器(20)	57
第11図	第1次調査断面図(2)	29	第39図	7トレンチ(S I 06)遺構配置図、 出土土器(1)	59
第12図	第1次調査断面図(3)	30	第40図	7トレンチ(S I 06)出土土器(2)	60
第13図	第1次調査段階別出土土器重量比(1)	32	第41図	7トレンチ(S I 06)出土土器(3)	61
第14図	第1次調査段階別出土土器重量比(2)	33	第42図	11トレンチ遺構配置図、出土土器(1)	62
第15図	第1次調査段階別出土土器重量比(3)	34	第43図	11トレンチ出土土器(2)	63
第16図	第1次調査段階別平面図及び断面図	35	第44図	4トレンチ(S I 08)遺構配置図、 出土土器	64
第17図	第1次調査段階別貝層及び土層平面分布	36	第45図	8トレンチ(S I 09)遺構配置図、 出土土器	65
第18図	第1次調査段階別主要土器	37	第46図	10トレンチ遺構配置図	66
第19図	第1次調査出土土器(1)	38	第47図	10トレンチ出土土器	67
第20図	第1次調査出土土器(2)	39	第48図	2トレンチ遺構配置図、出土土器(1)	69
第21図	第1次調査出土土器(3)	40	第49図	2トレンチ出土土器(2)	70
第22図	第1次調査出土土器(4)	41	第50図	山野貝塚南部地点貝層	71
第23図	第1次調査出土土器(5)	42	第51図	1・3トレンチ遺構配置図、S I 01 出土土器	73
第24図	第1次調査出土土器(6)	43	第52図	S I 02 遺構実測図	74
第25図	第1次調査出土土器(7)	44			
第26図	第1次調査出土土器(8)	45			
第27図	第1次調査出土土器(9)	46			
第28図	第1次調査出土土器(10)	47			

第53図	S I 02 建替え想定図	75	第86図	打製石斧、磨製石斧、磨石類、石皿分布図	121
第54図	S I 02 出土土器（1）	76	第87図	石棒・石剣、垂飾分布図	122
第55図	S I 02 出土土器（2）	77	第88図	石器実測図（1）	123
第56図	S I 13（16トレンチ）実測図	80	第89図	石器実測図（2）	124
第57図	S K 01 実測図、出土土器	81	第90図	石器実測図（3）	125
第58図	S K 15 実測図	83	第91図	石器実測図（4）	126
第59図	S K 15 出土土器（1）	84	第92図	石器実測図（5）	127
第60図	S K 15 出土土器（2）	85	第93図	石器実測図（6）	128
第61図	S K 15 出土土器（3）	86	第94図	石器実測図（7）	129
第62図	S K 15 出土土器（4）	87	第95図	石器器種別構成岩石種比較	146
第63図	昭和38、39年人骨発見時模式図	88	第96図	段階別骨角歯牙製品出土点数比	150
第64図	昭和38、39年発見人骨（標本番号： 130847・130848）と一緒に入っていた土器	89	第97図	骨角歯牙製品分布図	151
第65図	5トレンチ遺構配置図、出土土器（1）	91	第98図	骨角歯牙製品実測図（1）	152
第66図	5トレンチ出土土器（2）	92	第99図	骨角歯牙製品実測図（2）	153
第67図	9トレンチ遺構配置図、出土土器	93	第100図	骨角歯牙製品実測図（3）	154
第68図	12トレンチ遺構配置図、出土土器	93	第101図	貝製品分布図	157
第69図	第2次調査トレンチ別土器出土量比	97	第102図	貝製品実測図	158
第70図	土製品組成グラフ	101	第103図	遺跡全体及び時期別貝類組成	162
第71図	土偶、耳飾、ミニチュア土器分布図	102	第104図	時期別・サンプル別貝類組成	163
第72図	土器片錘、土製円盤、有孔円盤、蓋状土 製品分布図	103	第105図	イボキサゴ・ハマグリ・シオフキ計測値 ヒストグラム	171
第73図	土器片錘段階別利用土器片および、 出土量点数比	105	第106図	ツメタガイ計測値ヒストグラム	172
第74図	土製円盤段階別利用土器片および、 出土量点数比	105	第107図	サンプル別陸産貝類組成	178
第75図	土偶実測図（1）	106	第108図	破碎されたイボキサゴ	178
第76図	土偶実測図（2）	107	第109図	山野貝塚における脊椎動物遺体の組成変遷 （現地採集資料、NISP比）	180
第77図	土偶実測図（3）、土版実測図	108	第110図	山野貝塚における魚類遺体の組成変遷 （現地採集資料、NISP比）	190
第78図	土器片錘実測図	109	第111図	山野貝塚における魚類遺体の組成変遷 （現地採集資料、MNI比）	191
第79図	土製円盤実測図	109	第112図	魚骨包含密度と検出魚種数	192
第80図	蓋状土製品実測図	110	第113図	貝層サンプルから検出された魚類遺体の 年代別組成（椎骨NISP比）	210
第81図	耳飾実測図	112	第114図	貝層サンプルから検出された魚類遺体の 地点別組成（椎骨NISP比）	210
第82図	有孔円盤実測図	112	第115図	東京湾内湾東岸北部から外湾（湾口部）に 所在する縄文時代後・晩期の貝塚から検出	
第83図	ミニチュア土器、その他の土製品実測図	112			
第84図	段階別石器出土点数比	119			
第85図	石鏃、石錐、剥片、石核分布図	120			

された鳥類組成比	213	同位体比	271
第116図 山野貝塚から採集された小型哺乳類遺体の組成 (MNI=29)	229	第125図 山野貝塚出土人骨における炭素・窒素同位体比と動物骨から推定されるタンパク質源	272
第117図 山野貝塚におけるイノシシ・シカ遺体の比率の変遷 (現地採集資料, NISP比)	255	第126図 海産物摂取による海洋リザーバ効果を補正した、人骨の較正 ¹⁴ C年代	272
第118図 山野貝塚におけるイノシシ・シカ遺体の比率の変遷 (現地採集資料, MNI比)	255	第127図 段階別遺構等配置図 (1)	274
第119図 性判定境界値による四肢骨の性別判定	263	第128図 段階別遺構等配置図 (2)	275
第120図 四肢骨断面示数の比較	263	第129図 山野貝塚に広域からもたらされた遺物の搬入概念図	280
第121図 山野貝塚人骨 (UMUT130847) : a 頭蓋骨、b 歯牙および上下顎骨、c 切歯	264	第130図 小櫃川中～下流域周辺における縄文時代後・晩期遺跡分布図	288
第122図 山野貝塚人骨 (UMUT130847) : a 上肢骨、b 下肢骨	265	第131図 千葉県における縄文時代後・晩期の主要貝塚分布図	291
第123図 山野貝塚人骨 (UMUT130848) : a 上肢骨および歯牙、b 下肢骨	265	第132図 東京湾内湾東岸北部から外湾 (湾口) 部に所在する縄文時代後・晩期貝塚の魚類組成 (現地採集資料の NISP比)	292
第124図 山野貝塚出土動物骨における炭素・窒素			

表 目 次

表1 本報告書における土器区分と時期設定	2	表18 石皿	145
表2 山野貝塚調査歴等	18	表19 砥石	145
表3 千葉県に所在する縄文時代中・後・晩期貝塚の規模	20	表20 石鏃	145
表4 土偶・土版属性表	113	表21 剥片石器・玉類・軽石	145
表5 土器片錘属性表	114	表22 構成礫毎個数・重量表	148
表6 土製円盤属性表	115	表23 袖ヶ浦市松川上流地点採集礫岩種毎重量範囲度数分布表	148
表7 蓋状土製品属性表	118	表24 骨角歯牙製品属性表	155
表8 耳飾属性表	118	表25 貝製品属性表	159
表9 有孔円盤属性表	118	表26 貝類種名表	161
表10 ミニチュア土器属性表	118	表27 貝類組成表	164
表11 その他の土製品属性表	118	表28 時期別主要貝類計測	169
表12 石器属性表	131	表29 サンプル別イボキサゴ殻径計測	169
表13 器種別岩石種一覧	141	表30 サンプル別ハマグリ殻長計測	170
表14 出土点数が多い器種ごとの構成岩石種	145	表31 サンプル別シオフキ殻長計測	170
表15 打製石斧	145	表32 サンプル別ツメタガイ殻高計測	170
表16 磨製石斧	145	表33 山野貝塚の10Tの土壌サンプルから得られた貝類遺体等の分類学的位置と生息場所	173
表17 磨石類	145		

表 34	山野貝塚の 10T の土壌サンプルから 得られた貝類遺体等の詳細	177	表 54	山野貝塚から採集された小型哺乳類遺体の 顎骨／歯の同定結果	224
表 35	山野貝塚の 10T の土壌サンプルの海産 および淡水産貝類	178	表 55	山野貝塚から採集されたイヌ遺体の同定結果の 詳細	227
表 36	シオフキの推定殻長	178	表 56	山野貝塚から採集された小型哺乳類遺体の 組成	229
表 37	分析対象サンプル一覧	180	表 57	山野貝塚の現地採集資料から確認された イノシシ・シカ遺体の同定結果（1）： 第 1 次 調査「純貝層」出土資料	230
表 38	山野貝塚から採集された魚類・両生類・爬虫類 遺体の種名一覧	181	表 58	山野貝塚の現地採集資料から確認された イノシシ・シカ遺体の同定結果（2）： 第 1 次 調査「純貝層」以外の出土資料	239
表 39	山野貝塚の現地採集資料から確認された魚類 遺体の同定結果（1）：第 1 次調査「純貝層」 出土資料	182	表 59	山野貝塚の現地採集資料から確認された イノシシ・シカ遺体の同定結果（3）： 第 2 次調査出土資料	243
表 40	山野貝塚の現地採集資料から確認された魚類 遺体の同定結果（2）：第 1 次調査「純貝層」 以外の出土資料	185	表 60	山野貝塚から採集されたイノシシ切歯骨・ 上顎骨の詳細	244
表 41	山野貝塚の現地採集資料から確認された魚類 遺体の同定結果（3）：第 2 次調査出土資料	187	表 61	山野貝塚から採集されたイノシシ下顎骨の 詳細	245
表 42	山野貝塚出土魚骨（現地採集資料）における 大型標本の計測値	188	表 62	山野貝塚から採集されたイノシシ上顎遊離歯の 詳細	247
表 43	山野貝塚の現地採集資料から確認された魚類・ ウミガメ類遺体の組成（NISP）	188	表 63	山野貝塚から採集されたイノシシ下顎遊離歯の 詳細	248
表 44	山野貝塚の現地採集資料から確認された魚類・ ウミガメ類遺体の組成（MNI）	189	表 64	山野貝塚から採集されたシカ上顎骨の詳細	249
表 45	山野貝塚の現地採集資料から確認された ウミガメ類遺体の同定結果	191	表 65	山野貝塚から採集されたシカ下顎骨の詳細	250
表 46	山野貝塚の貝層サンプルから検出された脊椎 動物遺体の同定結果	193	表 66	山野貝塚から採集されたシカ上顎遊離歯の 詳細	252
表 47	山野貝塚の貝層サンプルから検出された 脊椎動物遺体の組成（NISP）	208	表 67	山野貝塚から採集されたシカ下顎遊離歯の 詳細	253
表 48	山野貝塚の貝層サンプルから検出された魚類 遺体の組成（椎骨 NISP）	209	表 68	山野貝塚の現地採集資料から確認された イノシシ・シカ、イルカ・クジラ類遺体の 組成（NISP）	254
表 49	検出された鳥類遺存体の分類群	211	表 69	山野貝塚の現地採集資料から確認された イノシシ・シカ、イルカ・クジラ類遺体の 組成（MNI）	254
表 50	鳥類最少個体数と同定破片数	212			
表 51	鳥類出土量一覧	212			
表 52	山野貝塚から採集された哺乳類遺体の 種名一覧	218			
表 53	山野貝塚から採集された小型哺乳類遺体の 同定結果	221			

表 70 山野貝塚の現地採集資料から確認された イルカ・クジラ類遺体の同定結果 ……………	256	表 77 海産物摂取による海洋リザーバ効果を補正した、 人骨の較正 ¹⁴ C 年代 ……………	271
表 71 山野貝塚の人骨標本リスト ……………	261	表 78 山野貝塚における動植物資源利用の様相 ……	282
表 72 四肢骨計測値 (mm) ……………	262	表 79 小櫃川中～下流域周辺における縄文時代後・ 晩期の遺跡の継続期間 ……………	286
表 73 前処理によるゼラチン回収率と元素分析の結果 ……	270	表 80 東京湾内湾東岸北部から外湾 (湾口) 部に所在 する縄文時代後・晩期貝塚の魚類組成 (現地 採集資料の NISP 比) ……………	293
表 74 動物骨コラーゲンの炭素・窒素同位体比 ……	270		
表 75 人骨コラーゲンの炭素・窒素同位体比 ……	270		
表 76 ¹⁴ C 年代測定の結果 ……………	271		

写真図版目次

図版 1 昭和 22 年山野貝塚周辺航空写真	図版 15 土器 (5)、土製品 (1)
図版 2 昭和 45・54 年山野貝塚航空写真	図版 16 土製品 (2)
図版 3 第 1 次調査、第 2 次調査全景等	図版 17 土製品 (3)、石器 (1)
図版 4 第 1 次調査貝層、遺物出土状況 (1)	図版 18 石器 (2)
図版 5 第 1 次調査貝層、遺物出土状況 (2)	図版 19 石器 (3)
図版 6 第 1 次調査貝層、遺物出土状況 (3)	図版 20 骨角歯牙製品、貝製品
図版 7 第 1 次調査貝層、遺物出土状況 (4)、第 2 次調査 貝層、第 7 次調査貝層	図版 21 貝類
図版 8 第 2 次調査住居 (1)、南西部地点貝層	図版 22 魚類 (1)
図版 9 第 2 次調査住居 (2)・土坑	図版 23 魚類 (2)、海生哺乳類
図版 10 第 1 次調査土坑、第 2 次調査遺物包含層、第 7 次 調査土坑等	図版 24 鳥類
図版 11 土器 (1)	図版 25 小型哺乳類 (1)
図版 12 土器 (2)	図版 26 小型哺乳類 (2)、イノシシ (1)
図版 13 土器 (3)	図版 27 イノシシ (2)
図版 14 土器 (4)	図版 28 シカ (1)
	図版 29 シカ (2)